

令和3年度 学校評価シート

アンケート回答選択肢：よく当てはまる = 4点、 ほぼ当てはまる = 3点、
あまり当てはまらない = 1点、 当てはまらない = 0点

評価の点数について、素点平均 = 4～0の評価の平均値 (4点満点)
達成率 = 素点平均 × 100 / 4 (100%表示)

達成率	評価
80%以上 100%以下	A
60%以上 80%未満	B
40%以上 60%未満	C
20%以上 40%未満	D
0%以上 20%未満	E

1 職員による自己評価

領域	評価の観点	実践目標	達成率	評価	成果・課題・改善策
学校運営	開かれた学校づくり	学校は、学年通信や「保健だより」・「みみだより」などを発行することで保護者・子どもたち・関係諸機関の方々などへの適切な情報発信ができています。	87	A	<ul style="list-style-type: none"> 各学部・学年や各担当より、学校の様子や行事予定を毎月定期的に情報発信できた。引き続き内容の充実した通信等を作成する。 育友会と連絡を密に図ることができた。連絡ミスが減らすために、メールの活用が望ましい。 ホームページの内容を各学部等で精選し、計画的にアップできた。さらに内容の充実を図る。 新型コロナウイルス感染症の影響で、地域のこども園や小・中学校への派遣が延期・中止になった。引き続き、感染防止対策を徹底しながら教育相談・通級指導を実施していく。
		学校は日頃から育友会との連携をとり、学校の教育活動の理解を促すよう努めている。	80	A	
		学校のホームページは適切で興味ある内容になっている。	73	B	
		学校は教育相談・通級・研修会の講師派遣等、地域のセンター的機能を果たしている。	83	A	
	進路指導 キャリア教育	学校は卒業後の自立と社会参加に必要な力を身につけるため、幼児から発達段階に応じた進路学習（自立に向けた学習）を行っている。	77	B	<ul style="list-style-type: none"> 学部ごとに個々の発達段階に合わせ、教科学習や就労体験を計画し、実施できた。 保・幼・小学部の各部入学保護者を中心に、個別の教育支援計画と合理的配慮に関する説明を実施し、職員にも書き方等を含め、説明した。
		個別の教育支援計画は、担任と保護者の話し合いで子どもたち一人一人の目標に基づいてつくられている。	82	A	
	教職員の 資質向上	学校は研究授業や公開授業、研修会などを計画的に実施し、指導力の向上に努めている。	81	A	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、専門性向上研修を2回実施できた。また、新着任用者研修の項目を増やし、授業の相互見学の機会を増やした。今年度から研究紀要作成に加え、学部ごとの研究まとめ発表も行う。 「朝の手話」は例文を付けることで、授業等での実践的な応用を目指した。講話では、長年聴覚障害に携わってきた教員からの提言も行った。 授業や行事等でICT機器を使いやすいよう整備し、トラブル等にも迅速に対応した。コロナ禍で自宅待機の児童生徒に対し、ICT機器を利用してHRや授業を行うための支援を行った。 人権研修は、全職員を対象とした悉皆研修として位置付けるのが望ましい。
		学校は聴覚障害の専門性について職員相互で高め合っている。	76	B	
		学校ではコンピュータやIT機器が充実し、授業や校務での活用の幅が広がっている。	74	B	
		学校では人権教育研修や人権啓発資料等を通じて、教職員の人権意識を高め、教職員自ら主体的に人権感覚を養っている。	71	B	
	危機管理 体制の整備	学校は子どもたちが安全に過ごせる環境を作り、事故を防止するための適切な配慮を行っている。	70	B	<ul style="list-style-type: none"> 防災担当者を中心に、防災マニュアルの見直しを適宜行う。総務部と生徒指導部が連携し、危険箇所等の情報共有を図る。 西門施錠については奏効した。不審者対応、交通安全指導に全職員でさらに共通理解を図る。 個人情報等セキュリティ委員会を立ち上げ、校内情報資産の保護に努めた。今後も継続する。 学校内規集について新着任用者研修で説明し、周知を図った。さすまたの保管場所、不審者対応の流れ等は今後も不審者対策研修等で徹底を図る。 感染予防対策は保健部や安全衛生委員会を中心に、状況に応じて最善策を検討しながら進める。
		学校は危機対応力がある。（個人情報の管理、不審者対応など）	64	B	
		学校は子どもたちの問題に組織的に取り組める体制が確立している。	67	B	
		新型コロナウイルス感染予防対策について、教職員間で共通理解し、状況に応じた最善の対策をしている。	82	A	
	関係諸機関との連携	学校は医療、福祉、教育、労働等の諸機関と連携する機会を持ち、子どもたちや保護者への支援に活かしている。	77	B	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナの影響のため対面による情報交換の機会が減少し、オンラインによる実施が増えた。 在籍生徒の地域の福祉機関と特に連絡を密にし、卒業後の連携が取れるようにしている。
	学部・学年運営	学校では保・幼・小・中・高の学部間の連携や、校務分掌部間の連携ができています。	57	C	<ul style="list-style-type: none"> 各学部の様子は学部長間では共有できた。教育活動の連続性という意味では、各学部は独自に行っている面が強い。他学部の教育活動内容を理解した上で、所属学部での教育活動に取り組めるようにすることが今後の課題である。
	教育相談	学校はいじめの未然防止を図りながら、いじめの早期発見に取り組むとともに、いじめを認知した場合に迅速かつ適切に対応している。	78	B	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止のため、学校生活アンケートを学期に1回実施した。次年度はいじめ防止についての学習や講演会を検討する。 学期ごとの保護者面談に加え、必要に応じて保護者や幼児児童生徒と話す機会を設け、丁寧に対応した成果が出ていた。今後も継続していく。 福祉や医療、教育関係機関と連携しながら、個に応じた速やかな問題対応を心掛けた。引き続きセンターで情報共有しながら組織的に対応する。 担任とセンター職員との時間が合わず、放課後等に丁寧に相談対応を実施する機会が減った。普段の雑談の中での担任との情報共有を意識する。 聴覚障害に対する合理的配慮はしっかりできていた。他の障害に対する知識や支援方法を学び、対応していくことが今後の課題である。
		学校は子どもや保護者の進路や学習の悩みに対して個人面談などを行い、適切な指導をしている。	80	A	
		学校は補聴器・人工内耳の装用、また言語発達や就学に関する相談に対して個に応じた適切なアドバイスができています。	83	A	
		学校は幼児・児童・生徒の教育支援（就学指導を含む）において、情報を共有し組織的かつ適切な対応ができています。	74	B	
	合理的配慮	学校では、幼児・児童・生徒に対して合理的配慮が提供できている。	76	B	
校務処理	学校では勤務時間の適正化が図られている。	48	C	<ul style="list-style-type: none"> 定時退勤日、ノー会議デーを設定できなかった。次年度は設定し、全職員に意識づけを図る。 	

	22		学校では校務の合理化が図られている。	48	C	<ul style="list-style-type: none"> ・各種会議、研修の効率的な運営を心掛ける。 ・職員数減少に伴う校務の整理や見直しを図る。 ・適材適所の人材配置や業務量の均等化を図る。 ・行事の精選や縮小化に向けて検討する。
教育課程	23	個に応じた学習指導	学校は個別の指導計画を基に、子どもの障害に配慮した教育活動を行っている。	75	B	<ul style="list-style-type: none"> ・教科会を利用して、学部・学年を越えて教科間での連携を図り、学習指導の充実を目指す。 ・年度初めに目標立てや評価方法について、職員間で共通理解を図り、同じ方針で授業を行う。
	24		学校は子どもたちが主体的に学習に取り組む場面を設定し学びを深めるような授業を行っている。	78	B	
	25	特別活動・行事	学校は子どもたちが主体となる行事やイベント活動の充実に努めている。	81	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、できる範囲で行事を実施した。特に文化祭が実施できたことは大きな成果である。各学部ともに趣向を凝らした演技や作品を披露し、保護者からも好評を博した。 ・次年度も感染防止対策をとりながら可能な限りの行事を実施し、子どもたちの主体性を育てる。
課題教育	26	防災・安全教育	学校はより具体的な災害状況を想定した実践的な防災訓練をしている。	74	B	<ul style="list-style-type: none"> ・引き渡し訓練は感染防止対策をとった上で実施する。防災教育や避難訓練、その他防災に関しては、年間計画を明確にして組織的に行う。防災担当者を明確にする。（管理職からの任命による） ・始業式等に生徒指導部が中心となって交通立ち番や、中学部でJAF交通安全講習会を実施した。次年度も引き続き安全教育の取組を実施する。 ・人権教育の年間指導計画を作成し、資料等が共有できるように共有フォルダを作成する。 ・栄養教諭指導による給食の調理体験、出前授業の推進、給食の配膳等、様々な場面で食生活に係る指導を継続する。
	27		学校は交通事故防止などの安全教育を行っている。	73	B	
	28	人権教育	学校は生命を大切にし、人権を尊重した教育を行っている。	79	B	
	29	食育	学校給食を通して食生活や食事のマナーなど望ましい食習慣の指導を行っている。	79	B	
平均値				74	B	

2 中学部・高等部の生徒による評価

	設 問	達成率	評価
1	予習・復習などの学習習慣が身についている。	63	B
2	宿題や課題をきちんとやって、期日までに提出している。	83	A
3	授業中は、先生の話をよく聞いている（見ている）。	88	A
4	授業の内容は、よく理解できる。	75	B
5	先生の話（手話）は、よくわかる。	82	A
6	中間考査や期末考査の前には、計画を立てて一生懸命勉強している。	72	B
7	学校や学部のきまりをきちんと守って、生活している。	89	A
8	携帯やスマートフォンは、ルールを守って使っている。	82	A
9	交通ルールや電車・バスの中でのマナーを守っている。	96	A
10	掃除の時間は、まじめに取り組んでいる。	87	A
11	学校の備品や施設を大切に使っている。	90	A
12	自分から積極的にあいさつをしている。	79	B
13	先生や先輩とは敬語を使って話している。	70	B
14	いじめの問題が起きないように、みんなと仲良く行動している。	88	A
15	日番や週番など、当番の仕事を怠けずにきちんとやっている。	81	A
16	部活動に熱心に取り組んでいる。	85	A
17	文化祭や修学旅行、校外学習などの行事に、まわりと協力して取り組んでいる。	93	A
18	防災の学習や、講演会（携帯、性教育など）によって、自分の生活を見直したり考え方を変えたりしたことがある。	81	A
19	進路の講演会や卒業生のお話を聞き、自分の進路を考える上で参考になった。	78	B
20	悩んだり困ったりした時に、相談できる友だちや先生がいる。	85	A
21	勉強のことや友だちのことについて家の人と話をする	75	B
22	授業や学校生活の中で、新型コロナウイルス感染防止対策（マスク着用、消毒、換気等）がきちんとできている。	93	A
23	この学校に入ってよかったと思っている。	85	A
平均値		83	A

3 保護者による評価

	設 問	達成率	評価
1	お子様は学校に行くのを楽しみにしている。	77	B
2	学校は学校・学部・学年の目標や方針がわかるように提示している。	84	A
3	学校は配付物やマチコミ、ホームページなどで適切に情報発信をしている。	85	A
4	授業・保育は楽しくよくわかるように工夫されている。	82	A
5	学校はお子様の成長の様子や課題などをわかりやすく伝えている。	81	A
6	学校は学んだことを家庭で取り組めるような支援ができています。	86	A
7	お子様は学校生活の様子を家庭でよく話題にする。	78	B
8	宿題はお子様にとって適切な量である。	63	B
9	お子様は家庭でよく勉強している。	48	C
10	学校は部活動などの課外活動に積極的に取り組んでいる。	78	B
11	学校は挨拶やルールを守る指導をしている。	86	A
12	学校は本人や保護者の願いや思いをきちんと受け止めている。	79	B
13	学校は防災や不審者侵入などの安全対策を実施している。	74	B
14	学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる。	82	A
15	お子様は学校行事を楽しみにしている。（または、「親子とも楽しめる保育や行事を企画・運営している。」）	90	A
16	学校は進路（進級を含む）に関する情報提供を適切に行っている。	79	B
17	学校は家庭・地域・医療との連携・協力が図れている。	78	B
18	学校は新型コロナウイルス感染防止対策を適切に行い、安心安全な学校づくりに取り組んでいる。	85	A
19	お子様を本校に入学させて良かったと思う。	88	A
	平均値	79	B

4 学校評議員による評価

	設 問	達成率	評価	成果・課題・改善策
1	本校の教育は保護者や社会の期待に応えている。	88	A	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、慎重に、かつ、教育活動が止まらないようにと、熱心に指導されている。 ・今後、生徒の在宅生活や就労等の相談がある際、関係機関との連携を密に図る。 ・聞こえない生徒の立場に立ち、どのように理解できるか絶えず工夫が必要である。聴覚障害の特性を理解するための職員研修を重ねていく。 ・聞こえる先生の手話習得が課題である。聞こえない先生も聞こえる先生の手話力向上のために支援する。 ・「生きる力」では、自ら学び自ら情報を取りに行く力が必要で、そのためにも、学校全体で自尊心や自主性をもっと大事にする教育に取り組んでいく。 ・各HR教室や特別教室等の清掃、グラウンド整備に力を入れ、学習環境の充実を図る。
2	本校では、聴覚支援学校としての専門性が十分に発揮されている。	78	B	
3	本校は「生きる力」を育む教育の推進を行っている。	72	B	
4	本校では、幼児児童生徒の健康や安全に対する指導が適切に行われている。	81	A	
5	本校の施設は、教育活動を進める上で十分に整備されている。	69	B	
	平均値	78	B	